

水上ソーラー完成

笠岡で大阪ガス子会社

市遊水池借りパネル設置



た。大阪ガス全額出資の子会社・エナジーバンクジャパン(大阪市)が、水面約2万6千方畝のうち、約1万3千方畝を市から借り受け整備した。

水面に浮かべたポリエチレン製フロートの上にパネル3744枚

を浮かべて発電する水上ソーラー発電所が、笠岡市十一番町の遊水池に完成し、23日、現

地で竣工式が行われ電力に売電し、年間約

3200万円の売り上げを予定している。事業費は約3億円。契約期間は21年間、エナジー社は水面の賃借料として年間約2013年、太陽光発



エナジーバンクジャパンが整備した水上ソーラー発電所。笠岡市十一番町

130万円を市に支払う。同社によると、岡山県内では初の本格的な水上ソーラー発電所という。

竣工式には地元関係者ら約30人

電事業者に遊水池水面の貸し付けを計画。魚や野鳥の生態環境に影響を与えないことを条件に事業者を公募し、2015年に同社と協定書を締結。今年1月から建設工事を進めていた。(斎藤英宗)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。